

令和５年度 第２回 守山市社会教育委員会議 議事録（摘録）

- 1 日 時：令和６年２月26日（月） 午後１時30分から午後３時15分まで
- 2 場 所：守山市役所３階34会議室
- 3 出席者：委員９名（中川委員長、清水副委員長、北川委員、小泉委員、千葉委員、
村瀬委員、中島委員、藤井委員、田中委員）
事務局９名（向坂教育長、飯島部長、川上次長、横山課長、上田係長、
藤田指導主事、真鍋指導員、須賀事務員、佐藤参事）
傍聴者０名
- 4 議 題
 - 報告事項 (1) 令和５年度事業経過報告について
 - (2) 北部図書館（本の湖）について
 - (3) 守山市地域学校協働活動事業（子ども応援団活動）について
 - (4) 第３期守山市教育行政大綱について
 - 協議事項 (1) 第５次社会教育・生涯学習まちづくり基本計画の重点施策について（子育てと家庭環境の充実）
 - (2) 令和６年度事業計画（案）について

《会議記録》

1 開会

- (1) 委員長あいさつ
- (2) 教育長あいさつ

2 報告事項

- (1) 令和５年度事業経過報告について
→資料１に基づき事務局より説明。質疑応答とくになし。
- (2) 北部図書館（本の湖）について
→資料２に基づき事務局より説明。質疑応答等の内容は別紙のとおり。
- (3) 守山市地域学校協働活動事業（子ども応援団活動）について
→資料３に基づき事務局より説明。質疑応答等の内容は別紙のとおり。
- (4) 第３期守山市教育行政大綱について
→資料４に基づき事務局より説明。質疑応答とくになし。

3 協議事項

- (1) 第５次社会教育・生涯学習まちづくり基本計画の重点施策について
→資料５に基づき事務局より説明。質疑応答等の内容は別紙のとおり。
- (2) 令和６年度事業計画（案）について
→資料６に基づき事務局より説明。次回の担当委員および研究内容については、事務局で検討して連絡する。質疑応答等の内容は別紙のとおり。

4 閉会

質疑応答等

【報告事項(2) 北部図書館（本の湖）について】

発言者	内容
委員	青年層の本離れがある中で、青年団は同年代に向けてのイベントをしているので、図書館と連携できると良い。
事務局	館内でも青年団と連携を検討していたので、お願いしたい。
委員	図書館は開架式ですか書庫ですか。
事務局	開架式です。取り寄せもできます。

【報告事項(3) 守山市地域学校協働活動事業（子ども応援団活動）について】

発言者	内容
委員	新規事業ということで、学校や公民館の負担は増えないのですか。
事務局	一時的には増えると思いますが、軌道に乗れば結果として業務の軽減につながると考えています。
委員	今あるものについて、仕組みが整理されることによって、さほど負担にならないように考えます。
委員	取組の対象は個人でしょうか、団体でしょうか。
事務局	個人、団体にとらわれずに、内容により対応しています。
委員	次年度のスタートに際しては、当事者間でのズレが生じないように目的ややり方を正しく共有することが大切と考えます。
事務局	スタートが肝心ですので、スタートアップマニュアルを作成し、学校と公民館とで共有する中、説明できるよう整えています。
委員	地域ごとに特色のある組織があることから、うまくマッチングする必要があります。
委員	学校が方針を打ち出してもらおうと、支援者も動きやすいと思います。
委員	応援団サロンの運営など予定を教えてください。
事務局	具体的には、これからの検討ですが、空き教室での活動から交流などが広がればよいと考えています。
事務局	安全面から学校は閉鎖的になりやすい、子どもにとっては、様々な人と触れることは大変大事だと思います。学区ごとの特色がある中、うまく公民館と連携を図っていきたいと考えます。
委員	学校と公民館の距離等の様々ですし、地域性もあるので、公民館に対応をお願いしたい。

【協議事項(1) 第5次社会教育・生涯学習まちづくり基本計画の重点施策について】

発言者	内容
委員	不登校問題が大きな問題です。要因は様々ですが、一つに保護者の過度な期待があると思います。また、子どもたちが自信を持てないなどの課

	題に対し、学校現場だけでの対応は難しい。子どもが勉強の点数でしか評価されなかったり、子ども同士で比べるのは良くない。また、親子の会話がLINEのみなど、保護者も悩まれている。そうした際に、支援できるのがPTAの役割と考えています。
委員	不登校については、全国的な問題です。ただ、守山市の増加率は非常に高いので、受け止めなくてはならない。市では、令和6年度から校内教育支援センターを予算化されています。その内容について説明をお願いします。
事務局	(令和6年度の事業を説明)
委員	不登校の中でも家から一步も出られない状態を特に心配します。フリースクールなど、なんらかの形で居場所があれば、少しは安心です。
委員	学校でも顔合わせができると安心ですが、全くできない子もいるので、アプローチが課題となっています。
委員	アプローチにも様々な方法があると思うので、工夫して行う必要があると思います。
委員	県内の市町でも子育て支援については、対策を悩んでいます。その中で、守山市は具体性をもって取り組んでいると思います。今後においても、既存事業を整理して体系化して進めていくことが良いと思います。大人がゆったりとした気持ちで子どもに接していくための手助けを行うのが行政の役割だと思います。
事務局	講演会などを企画しても、多忙などの理由で参加者が少ない。一方で保護者が情報過多に陥っていたりするので、対応が重要になってきます。
委員	不登校については、学校より離れた場所での支援が有効と思います。また、家庭教育支援については、保護者のスマホ依存についても対策が必要と思います。
委員	スマホについては、一概に有害なものとはせず、オンライン上でのコミュニティなども活用できるとよいと思います。
事務局	校内教育支援センターについては、どちらかというと教室復帰をめざすのではなく、居場所をつくって自立を促すことが目的となります。繋がれる場所が、アウトリーチを含めてあればよいというのが大きな考えの一つです。

【協議事項(2) 令和6年度事業計画(案)について】

発言者	内容
委員	漢健サロンについては、4つの自治会で実施しています。自治会主催なので、簡単にはいかないが、高齢者の学び合い、認知症予防、多世代交流といった観点から進めてほしいと考えています。
委員	(委員から各自治会での漢健サロンの状況報告)
委員	社会教育委員会議でサポートする中、来年度に10自治会に広げられたらと思っています。